

# 「第180回 防災まちづくり談義の会」

現地会場 参加 (要申込下記参照) +ZOOM オンライン参加 (会員のみ)

## 「日本列島の誕生と自然災害の理解」

～「卓上で創る日本列島」で理解する国土の生い立ちと災害～

講師：防災塾・だるま 副塾長 元小学校校長 鷲山龍太郎氏



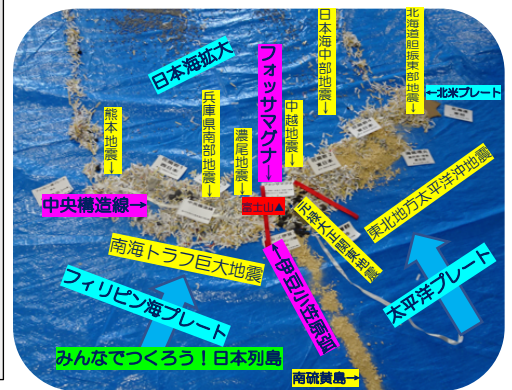
第1部：講演 13:30～14:30 「日本列島の誕生と自然災害の理解」  
 第2部：定例会 14:45～15:15 2021年度防災サロン準備の会 (裏面)  
 会場：横浜市青少年育成センター 第一研修室 (関内ホール 地下2階)  
 住所：横浜市中区住吉町 4-42-1・・・下記の案内図を参照

地震、火山大国の日本。過去の災害は、そこに住む人々が郷土の災害リスクを認識していなかったことが甚大な被害につながっています。阪神淡路大震災も東日本大震災もその悲劇の根底にこの課題があります。郷土横浜、神奈川の生い立ちを知る地学教育を実践してきた講師が、日本列島の生い立ちを模型で再現。巨大地震、火山噴火が起きる理由を「卓上で創る日本列島」のパフォーマンスを交えながら解説します。

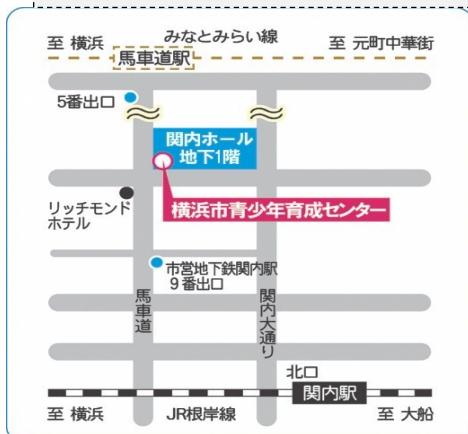


南硫黄島にて

- ・「君が代」の「さざれ石」は古生代、赤道のサンゴ礁。
- ・フィリピン海プレート拡大の「つじつま合わせ」で拡大した日本海。
- ・フォッサマグナは地球の裂け目。そこに住む私達。
- ・中央構造線の左ズレが巻き起こした西日本活断層と瀬戸内海。
- ・プレートが衝突した北海道と裂けている九州。
- ・「日本海溝移動」で東日本は沈没から浮上。
- ・突入する伊豆小笠原弧！南関東地震、南海トラフ巨大地震の理由。
- ・フィリピン海プレートは日本列島のイザナミ？母であり、災害のもと。
- ・プレート境界型と地球の裂け目、中央構造線関連で多発する地震。



受講者と創った日本列島。今回はこの新型簡易版を作ります。左上のストーリーで、できていきます↑



- ★公開講座：先着30名(要申込)
- ★参加費：無料(要資料代100円)
- ★会場：横浜市青少年育成センター 第一研修室 (関内ホール 地下2階)
- ★参加申込受付：☎ 090-5504-9812 Fax: 045-471-9923 (早川)

主催「防災塾・だるま」

<http://darumajin.sakura.ne.jp>



JR 根岸線「関内駅」下車徒歩7分  
 横浜市営地下鉄(ブルーライン)「関内駅」下車徒歩5分  
 みなとみらい線「馬車道」下車徒歩5分

次回：5月28日(金) 13:30～「神奈川県大地の誕生と自然災害」講師：副塾長 鷲山龍太郎

【 講師：鷺山龍太郎氏 】

元小学校長 神奈川地学会幹事 防災士 防災塾・だるま副塾長

小学校の教員として、阪神淡路大震災の惨状が地学教育の未熟性にあるとの課題意識から、横浜における地学教材の開発、展開、授業研究を推進。作成した代表的地学教材ビデオ「丹沢の化石サンゴ礁」は全国賞を受け、研究者からも高い評価を受ける。東日本大震災以降は小学校長として、地域、保護者と学校が連携した防災まちづくりを推進。校長を務めた太尾小学校は、今年2月「防災まちづくり大賞 総務大臣賞」（調査書執筆）を受賞した。

#### 4 参加方法

(1) 現地会場参加 新型コロナウイルス感染症対策のため 41 名の人数制限があります。

(先着順) 会員+招待者とします。ご希望の方は早川まで電話で申し込み。

👉 会場参加希望のメールアドレスと電話番号は、4月7日に送付した会員向けメールにあります

(2) ZOOM での参加方法 4月7日に送付した会員向けメールに ZOOM アドレスがあります。

(2) 会員の方は、この談義の会に参加して欲しいお知り合いの方をご招待いただくことができます。  
ただし、ズームアドレスの SNS 等による拡散はしないようにしてください。

5 第二部 (1) 2021年度「防災塾・だるま」定例会 14:45~15:15

(2) 防災サロン準備会 15:30~16:30

#### 🚀 防災サロン準備会の参加方法

○現地でも、リモートでも参加できるようにします。

○リモート参加は、分科会形式の「ブレイクアウトルーム」にご案内しますので、A,B,C,D いずれかのサロンを選択して、仲間に入ってください。

○ZOOM 参加アドレスは、防災塾・だるまホームページの「会員専用ページ」→「[Zoom 会議 情報](#)」にもあります。

**「防災塾・だるま」の活動・情報・活動計画等は HP をご覧ください。**